

日野市史

通史編二(中)



日野市史

通史編二(中) 近世編(一)

題字 丸山 鑾 溪

目次

口 序 凡 例
口 序 凡 例

近世編(一)

第一章 江戸幕府の成立と日野

第二節 徳川氏の関東入国と日野周辺

家康の関東入国(三三) 江戸打入り(二六) 関東入国と知行割(七) 小人頭と在郷武士団(一二)
大久保長安と八王子地域(二六) 石見土手と日野領(二二) 甲州道中と日野宿(二三)

三 三

第二章 日野地域の支配形態

大鳥逸平次捕縛事件(二五)

三〇

第三章 検地と村の成立

太閤検地(六八) 徳川氏の関東入国と検地(六九) 徳川氏の文禄検地(七二) 文禄三年豊田郷の
検地(七三) 豊田郷の検地帳(七五) 豊田郷の分付百姓(八〇) 市域の文禄検地(八七) 市域の
慶長検地(八七) 市域の寛永検地(八八) 日野本郷の寛永検地(九〇) 新井村の寛永検地(九三)
平山村の寛永検地(九九) 大和田村の寛永検地(一〇三) 市域の寛文検地(一〇五) 寛文期以後の
検地(一一〇) 村の成立と村高(一一二) 市域諸村の村高(一一四) 市域諸村の村役人(一一九)
旧家と名主役(一二四) 五人組とその機能(一二八) 金剛寺の門前百姓(一三〇)

六八

第二章 宿場・農村の発展と新田開発

第一節 日野宿の成立と発展

江戸時代以前の日野と交通路(一三九) 甲州道中制定以前の道(一四四) 宿駅制度の整備と
甲州道中(一四六) 甲州道中の特色(一五二) 日野宿の概観(一五三) 宿の機構(一六二)

一三九

一三九

人馬継立て(二六四) 日野宿の継立て(二六七) 宿泊施設(一七二) 日野宿の助郷(一七四)

第二節 日野宿と渡船場の経営

一七九

万願寺の渡しと日野の渡し(二七九) 渡船賃(一八二) 渡船の打替え(一八四)

第三節 享保期の新田開発

一八五

新田開発政策(一八五) 武蔵野新田の開発(一八六) 新田開発の役人たち(一八七) 高倉原の
開発(一九三) 高倉原開発令(一九八) 開発の経過(二〇二) 栗須新田と日野本郷新田(二〇五)
持添新田(二〇七)

コラム

平山八幡神社の軍配団扇……………二七
日野の「信玄塚」……………二八
旗本小林正利の坐像……………六六
小田原藩主の室寿昌院の墓……………六七
日野本郷の名主……………一三五
絵島・生島事件と宝泉寺金丸四郎兵衛の墓……………一六〇
旅籠屋玉屋と富士講……………一七七
日野本郷新田に落ちた隕石……………二〇九

資料提供者並びに協力者一覧……………二一一

執筆分担……………二一二

あとがき……………二一三

日野市史編さん関係者名簿……………二一四

見返し

『調布玉川絵図』より